事例No.	2624
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	北九州フィルム・コミッション

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

北九州フィルム・コミッション

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

遊子川地域活性化プロジェクトチーム　愛媛県西予市

概　　要

「このまま何もしなければ、地域が立ち行かなくなる」と地区住民が危機感を抱き、トマト農家の女性がJAの跡地利用として農家レストランを開業、映画製作で地域を盛り上げようと立ち上がった。製作した映画「食堂ゆすかわ」は高地栽培の特産トマト生産を通し、美しい風景や支え合って生きる人間模様を描いた。地域の老若男女６２人が重要な役割で出演する８０分の映画により、地域に活力が生まれている。



評価された点

・トマトという地域資源を活用し、特産品展開、農家レストランを通じて地域内外の新しいつながりを形成し、地域の潜在的可能性を高めている。
・地区住民全員参加の住民組織が様々な分野で主体性をもって取組みを継続。住民が生きがいを感じられる場になっている。映画製作の取組みもとてもユニーク。今後、法人化によりさらなる発展が期待できそう。
・地域の農家女性が主体となり、持続可能な地域づくりにつながるものとして高く評価される。その過程において、自主製作映画による自らの活動に関する情報発信もユニーク。
・映画をまちぐるみで製作することでまちを見直し、誇りを取り戻すプロセスは秀逸。
・単なる映画製作ではなく、その背景に直面する農業後継者問題を取り上げ、出演の形で地域活動の結束を固めるきっかけづくりとしても今後、気運を高めて継続していって頂きたい。



北九州フィルム・コミッション　福岡県北九州市

概　　要

北九州市の都市イメージの向上を図るため、全国に先駆けて、映画・テレビドラマのロケ地の誘致に取り組んでいる。本市の魅力的なロケーションを生かした提案、他都市に例を見ないロケのサポート体制と困難なロケに対する果敢な挑戦により、これまでに２００本を超えるロケを本市に呼び込み、地域に大きな経済効果、宣伝効果をもたらしている。また、多くの市民がエキストラ等として撮影に参加することで、郷土愛の醸成にもつながっている。



評価された点

・7,000人の住民がエキストラやボランティアスタッフに登録し、多くの住民がロケに協力するなど、街をあげた取組みとなっている。年間１億円という直接の経済効果だけではなく、地域住民の郷土愛を育むことにもつながっており、ロケ地誘致という独自の手法による新たなまちづくりは称賛に値する。
・粘り強く発信し続けていることが効果につながっていると思う。エキストラとして参加できる市民も誇りに思うことができ、経済効果も大きい。
・フィルムコミッション活動の先駆的地域として、地域活性化に取り組み、成果をあげている。
・フィルムコミッションの先駆けとして果たした役割は大きく、評価に値する。

